

データシート

サービスプロバイダ

オンプレミス

# Array AGシリーズ

セキュアアクセスゲートウェイ(SSL-VPN)

## 圧倒的なスケーラビリティとコストパフォーマンス 全モデルECC方式に対応したSSL-VPN

リモートアクセスには、多数のユーザとリソースを結び付ける確実な管理が求められ、ときには端末環境やデバイス自身の安全性まで制御が必要な場合もあります。SaaS、WEBアプリ、デスクトップやVDIと、管理対象も変化するなか、“Array AGシリーズ”は、多様で複雑なアクセスポリシーを、ワンストップで実現します。

### Array AGシリーズ 特長

**SSL-ECC**  
ハードウェア  
アクセラレーション



**多要素認証**  
ワンタイムパスワード/  
デバイス認証



デスクトップ/VDI  
リモート操作  
**DesktopDirect®**



優れたコスト  
パフォーマンス

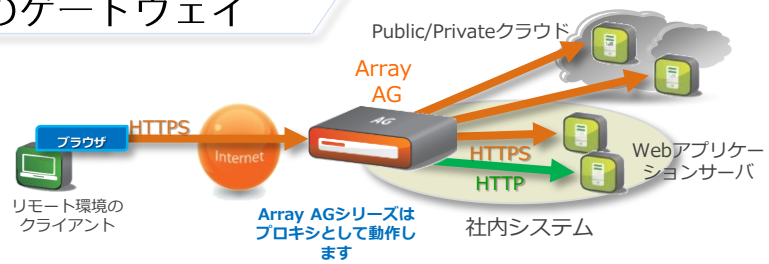



AGシリーズの仕様	AG1000 v5	AG1100 v5	AG1200 v5	AG1500 v5	AG1600 v5
最大同時接続ユーザ数	1,000	6,000	25,000	72,000	130,000
最大仮想ポータル数	10	50	256	256	256
SSLスループット[bps]	2.6G	2.6G	2.6G	6.2 G	7.2 G

## ○ 基本機能

### ■ Webアプリ/クラウドへのゲートウェイ

SaaSやWebアプリケーションのサービス利用は増加しています。Array AGシリーズをゲートウェイ・プロキシとして設置すれば、Webリソースへのアクセスもワンストップ管理できます。強力な認証、SSL暗号化通信と併せ、よりセキュアなシステムを構築できます。



### ■ L3VPN(トンネリング)

サービスやプロトコルによる制限を受けずに、社内システム環境へリモートアクセスすることが可能です。接続のためのツールは各種クライアントOSに対して提供されています。



### ■ 専用クライアントアプリ MotionPro

モバイルデバイスから簡単にVPNアクセスを行うことのできるクライアントアプリを、Android、iOSのいずれにも無償で配布しています。また、Windows、MacOS、LinuxのデスクトップOS版も提供しています。



**MotionPro Plus**  
Array AG/vxAGにアクセスするためのSSL-VPNクライアントアプリです。

**iOS版**



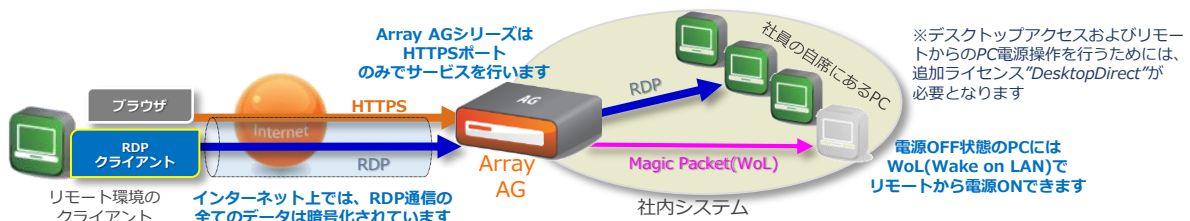
**MotionPro**  
Array AG/vxAGにアクセスするためのSSL-VPNクライアントアプリです。

**Android版**

## ○ オプション機能 (追加ライセンスが必要となります)

### ■ 自席PCをセキュアに操作 DesktopDirect

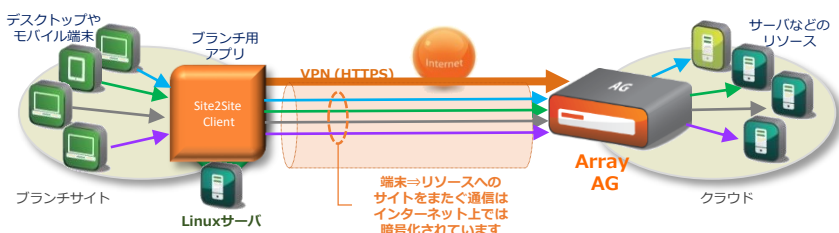
DesktopDirectは、社内にあるデスクトップに安全なリモートアクセスを実現します。ユーザ毎のアクセス範囲や権限を管理でき、データの持出しも防ぎます。また、物理PCに対するリモートからの電源操作も可能なため、使用する時だけ電源をONにする運用ができます。



### ■ サイト間のVPN接続 vSite2Site

クラウド、データセンタ、オンプレミス、リモートサイトなどの各拠点間を、SSL-VPNで常時接続するための機能です。センタ側ではArray AGシリーズがHUBとなり、ブランチ(Spoke)サイトでは、Linuxサーバに専用ソフトウェア(Site2Site client)をインストールするだけです。

ブランチサイトのサブネット上のクライアントは、認証等は必要とせず、センタサイト内のリソースに自由にアクセス出来ます。このときArray AGシリーズが、ブランチサイトのSite2Site clientからのVPN接続要求に対して、認証を行います。



多くの小規模拠点をもち、移転や統合、回線変更などの多い組織には、特に有効なソリューションです。ブランチサイト側のネットワーク環境を大きく変えることなく、ほぼそのまま移行できます。さらにSSL-VPNであるため、IPSecによるVPNに比べ、NATやFirewallとの親和性も高く、シンプルな設定で設置環境も選びません。\*vSite2Siteを使用するには、追加ライセンスが必要となります。

## ■ デバイス認証/IDaaS連携

のポリシーも実現できます。またマトリクス認証(SECREMATRIX)とも連携可能です。

アクセスに使用されるデバイスを、IDで識別する個人認証も標準装備。RADIUSやLDAPを介した外部認証基盤とも併用可能で、IDaaSとの実績も多く、多要素認証

## ■ ワンタイム・パスワードによる認証 – MotionPro OTP

一定時間ごとに更新されるランダムな数字をパスワードとして認証に活用することで、セキュリティはさらに高まります。このワンタイムパスワードの利用に、物理トークンや専用サーバは必要ありません。ユーザはモバイルデバイスに専用アプリ“MotionPro OTP”をインストールし、管理者はArray AGシリーズ上にオプション設定を行うだけです。

ワンタイムパスワードが  
 ◎専用システム不要  
 ◎追加ライセンス不要  
 で利用できます

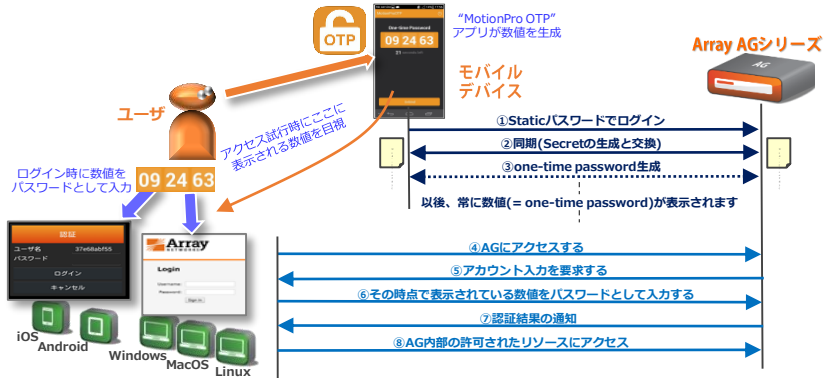


### MotionPro OTP

iOS, Android対応のワンタイム・パスワード専用アプリ。AppStore、GooglePlayからそれぞれ無償でダウンロードできます。



“MotionPro OTP”を起動します



Staticパスワードを使用してAGにログインします  
 これは初期設定であり、ログインに成功すればAGとの同期が完了します

ログインに成功するとワンタイムパスワードは常に表示されます

“MotionPro OTP”の再起動後、モバイルデバイスのスリープや再起動後も利用できます

## ○ ハードウェア/ソフトウェア

### ■ 強力な性能のSSLオフロード

Array AGシリーズは、全てのモデルが最新のSSLアクセラレータを搭載しており、VPNトラフィックの暗号/復号処理を高速に行います。また全モデルECC方式をサポートしています。

運用をシンプルに保ちながら、VPN経由でのレスポンスを維持向上出来ます。



### ■ 日本語GUI/業界標準CLI

GUIは日本語対応。複雑な設定や、導入後の管理を直感的に行えます。また、CLIはネットワーク機器の標準的なコマンド体系にまとめられており、すべての設定項目を網羅しています。

### ■ SSL脆弱性への耐性

SSLコンポーネントを独自にビルドしたArrayOSは、OpenSourceを利用した他社製品と比べ、脆弱性に該当する割合が非常に少ないという統計結果もあります。もちろん脆弱性に該当した場合も迅速に対応致します。

### ■ APIでクラウドシステムへの組み込み

Array AGシリーズは、XML-RPCインターフェイスをサポートしており、外部からのほぼすべての制御が可能です。クラウドシステムにおけるVPNサービス機として組み込みも可能です。実際にクラウド事業者へ導入された実績も多数あり、ユーザ企業のシステム管理者のためのメンテナンス用アクセスとしての活用も増えています。

# Array **AG** シリーズ データシート

モデル名	AG1000 v5	AG1100 v5	AG1200 v5	AG1500 v5	AG1600 v5																	
シングル電源	◎	◎	◎	—	—																	
デュアル電源	—	◎	◎	◎	◎																	
<b>バンドルパッケージ</b>																						
仮想ポータル (Virtual Portal)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
同時接続ユーザ数	25	50	100	300	100	300	500	1000	300	500	1000	2500	5000	500	1000	2500	5000	10000	1000	2500	5000	10000
<b>インターフェイス</b>																						
1GE(Copper)	4				4				4				4									
1GE(SFP)	2 (※オプション)				2 (※オプション)				2 (※オプション)				4 (※オプション)				4 (※オプション)					
10GE(SFP+)	-				-				-				2 (※オプション)				2 (※オプション)					
その他のインターフェイス	DB-9 x1 (コンソール)																					
<b>性能</b>																						
最大仮想ポータルサイト数	10				50				256													
最大登録ユーザ数	10,000				200,000				200,000				500,000				500,000					
最大同時接続ユーザ数	1,000				6,000				25,000				72,000				130,000					
SSL暗号化処理 SSLスループット[Gbps]					2.6								6.2				7.2					
<b>ハードウェア仕様</b>																						
ラックマウント・サイズ	1U																					
本体外寸(WxDxH) [mm]	432 x 381 x 44				*シングル電源モデル: 432 x 381 x 44 *デュアル電源モデル: 432 x 505 x 44				432 x 505 x 44													
本体重量	6.2kg				*シングル電源モデル: 6.2kg *デュアル電源モデル: 7.8kg				7.8kg													
電源	シングル電源: 100-240VAC, 8-4A, 50-60Hz				*シングル電源: 100-240VAC, 8-4A, 50-60Hz *デュアル電源: 100-240VAC, 8-4A, 50-60Hz (自動レンジ調整、HotSwap可能)				デュアル電源: 100-240VAC, 8-4A, 50-60Hz (自動レンジ調整、HotSwap可能)													
消費電力 [W]	112				132				133				162									
発熱量 [BTU/h]	384				453				458				557									
推奨環境	温度: 0℃~4.5℃; 湿度: 0%~90%(結露無きこと)																					
<b>ソフトウェア機能</b>																						
VPN関連機能	SSL Encryption, Virtual Portals, Web Applications, L3VPN client, Host Checking, vSite2Site(サイト間VPN)																					
ユーザ認証とアクセス管理	Local database, RADIUS, LDAP, SAML SP, SAML Idp, OAuth, SecureMatrix, HardwareID(デバイス個別認証), アンチウィルスソフトウェアの状態チェック, ワンタイムパスワード(MotionPro OTP)																					
<b>Access Direct</b>																						
ネットワーク	IPv6 Dual Stack, IPv4/V6 NAT, Ethernet link aggregation, VRRP, Static Routing																					
セキュリティ	Webwall™ (ネットワークベースファイアウォール), URL filtering																					
冗長化	最大32ノードのClustering, Active/StandbyおよびActive/Active構成, コンフィグレーション同期, Stateful Session Failover (SSF)																					
システム管理	CLI(業界標準コマンド形式), WebUI(英語/日本語/繁体中国語/簡体中国語), SSH, Syslog(TCP/UDP), SNMP(v2/v3), XML-RPC																					
<b>Desktop Direct</b>																						
デスクトップアクセス関連機能	Virtual Portals, Array registration technology, Wake-on-LAN																					
SSLハードウェア処理	◎	◎	◎	◎	◎																	
SSL機能	*X509証明書の生成, 複数の仮想サイトでの証明書共有 *1024/2048/4096bitの暗号鍵方式 *SSL方式: SSLv3.0, TLSv1.0, TLSv1.2 *Cipherスイート(RSA): RC4-MD5, RC4-SHA, DES-CBC3-SHA, AES128-SHA, AES256-SHA, AES128-SHA256, AES256-SHA256 *Cipherスイート(ECC): ECDHE-ECDSA-AES128-SHA, ECDHE-ECDSA-AES256-SHA, ECDHE-ECDSA-AES128-SHA256, ECDHE-ECDSA-AES256-SHA384, ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256, ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384																					
<b>規格その他への準拠</b>																						
国際規格準拠	ICES-003, EN 55024, CISPR 22, AS/NZS 3548, FCC, 47FR part 15 Class A, VCCI-A																					
認定	80 Plus, RoHS																					
安全規格	CSA, C/US, CE, IEC 60950-1, UL/CSA 60950-1, EN 60950-1																					

<開発元>



アレイ・ネットワークス株式会社

〒210-0004 神奈川県川崎市川崎区宮本町6-12  
GS川崎ビル4階

TEL: 044-589-8315

FAX: 044-589-8303



Email: Sales-Japan@arraynetworks.net

Website: [www.arraynetworks.co.jp](http://www.arraynetworks.co.jp)

Website2: [www.arraynetworks-japan.com](http://www.arraynetworks-japan.com)

※製品仕様などの最新情報は、弊社Webサイトをご参照下さい

<お問合せ>

<ANKK-MKT-ag-allmodels-2018Q4-1201>